

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成26年5月21日 午後7時00分から午後9時05分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	新井敦子委員、新井徳委員、内山長雄委員、金子隆博委員、北澤美恵子委員、清住洋子委員、児玉卓文委員、小林裕美委員、斎藤勇一委員、桜井久美子委員、下村利枝子委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢一幸委員、樋沢喜代二委員、伏見貴昭委員、柳沢裕子委員 【欠席委員】2名
5	市側出席者	渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、聲山市民生活課長兼健康福祉課長、雨宮産業観光課長兼建設課長、滝沢武石上下水道課長、児玉武石教育事務所長、佐藤地域政策係長、青井統括主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年6月9日
	作成部局課名	地域振興課地域政策係
協議事項等		
1	開会	(竹内副会長)
2	あいさつ	(清住会長) みなさんこんばんは。皆さん隣の方とジャンケンをしましょう。次は席を立ち、ジャンケンしましょう。センターの皆さんもどうぞ。～全員が和やかな雰囲気になる～ では、みなさん今回もよろしくお願いいたします。
3	報告事項	(1) 上田市地域協議会正副会長会の会議内容について 【清住会長から報告】 ・ 正副会長の選出について ・ 地域内分権、地域協議会について ・ わがまち魅力アップ応援事業について 【質疑・意見等】 ・ なし (2) 平成26年度武石地域自治センターの重点目標について 【事務局から説明】 【質疑・意見等】 ・ なし (3) 「雑がみ回収袋」の導入について 【事務局から説明】 【質疑・意見等】 ・ なし
4	協議事項	(1) 今後の協議会の進め方について 【協議事項に入る前に事務局から説明】 武石地域経営会議設立に向けて、これからどのように協議を進め取り組むのか、調査、研究をするのか、また概略を描いていくのか、お手元の富山県南砺市の資料をご覧ください。

地域内分権制度とは、今まで国がもっていた権限と財源を地方に移し、地方の責任においてその地域の実情にあった事業や活動を行っていきけるようにするものです。

これからは独自性、自由性、重点化が生かされる地域づくりができる体制にしていきたい。例えば高齢者施策を手厚くしたいとか、子育て支援策を増やそうとか、地域の課題は地域で解決していくとする体制づくりを進め、お金は地域の実情に応じた活動に使っていただき、住みよい地域づくりに役立てていきたい。そのような組織づくりをどうやるのか、どういう枠組みで補助金を出すのか、今年度中の立ち上げを目指して勉強会をお願いします。

もう一点、雲溪荘のあり方については、昨年度地域協議会で方向性が提案された。これからは地域自治センターと本庁関係課との協議を行い、必要な時は、全体会議で話し合いを設けるということで当面は専門部会では外してもらいたい。

・第4期地域協議会からの申し送り事項

【事務局から説明】

(会長) 只今、事務局から4期委員からの申し送り事項について説明がありましたが、昨年度各部会でそれぞれ協議いただいた委員が残っていますので、詳細について報告をいただきたいと思います。

～各部会の代表者が協議事項について報告～

【質疑・意見等】

- ・なし

・協議テーマ(地域課題)の検討

【地域自治センターの当面の課題について、事務局から説明】

(会長) 皆さん、協議テーマ、部会の構成人数はいかがですか。

(委員) 雲溪荘は結論(あり方の提案)が出たということだが、他の2テーマは昨年の申し送りから続けるのか。自治センターからは、地域経営会議設立に向けた協議を進めていただきたいと提案されている。他に今年度話し合いたい議題があるなら、4～5つになるかもしれない。人数配分を決めるよりテーマ、方向性を決めるのが先ではないか。

(会長) 昨年度からの2つは続けなければならないと思うが、他に皆さんで話したい議題があれば出していただきたい。

(委員) 先程自治センターから平成26年度の重点目標が発表された。それと(重点目標と)無関係のものではなく、関連した形のもを話し合うもの地域協議会の仕事の一つではないか。地域経営会議はこれを先取りして次年度予算化されてくるので、調査研究を進めるべきだ。温泉施設の方向性についてある程度結論が出たので行政に預け、残りの2テーマは引続き協議を進めたらどうか。新たに他のことをテーマにしても実現は難しいと思う。

(会長) 他にどうでしょうか。

(委員) 来年廃止のオフトーク協議は協議の対象としなくてよいのか。早急なことだと思うが。

(事務局) 防災上の緊急連絡等も含めた上田市全体の情報伝達手段の位置付けが明確でなく、方向性が決まっていないので、部会で検討し結論を出したとしても実現は難しい。

(委員) わがまち魅力アップ応援事業の団体役割、つながりは地域経営会議に結びつく大事なことと思う。地域経営会議に入れたらいいと思う。

(会長) わがまち魅力アップ応援事業の活動は市としても大事に思っている。報告会を地域協議会委員にする地域もあるそうだ。武石地域は報告会がないが実施の予定はあるのか。

(事務局) 住民の参加と協働によるまちづくりを推進するためにも実施を考えたい。

(会長) では、今年度の協議テーマは、『武石地域経営会議設立に向けた調査研究』と、これまでの『武石地域全域公園化構想による地域づくり』、『活発な地域づくり』の3つテーマでよろしいか。よろしければ、どのように話し合っていくか意見をいただきたい。

(委員) 昨年度は分科会方式により少人数で話しやすかった。30分程度全体会で話し合ってから、部会に分かれて話し合うのも一つと思う。

(委員) 部会員の話し合いが行詰ると他の委員の意見も聞きたいと思うことがあった。他の部会

に興味があっても話しに入れなかった。今年度新しい部員がいるので、1年目は全体で話し合ってから2年目は分かれるのはどうか。

(委員) 人が変われば意見も思いも変わる。武石地域全域公園化構想では、去年は武石公園に協議が固定してしまった。武石地域全体の公園化を皆で話せばよい意見も出るのではないか。

(会長) 新しい委員の方、ご意見どうでしょうか。

(委員) 全体会の良いところは、皆の意見が出るが、協議が進まなくなることもある。まずは少人数で話し合い、これまでのように全委員に発表し、後に全体会で協議を進めたり、また部会によって別のやり方に改善したりはどうか。

(委員) 新しい委員は付託という形で使命感を持って、受け持った部会で話し合いをするのはどうか。どの部会に属するかが決まる前に全体を見たい。

(会長) 初めの方が良い感覚を持って意見を言える場所づくりをしたい。これまでの部会を一度散会し、新たに集結したらどうでしょう。ある程度部会希望を聞きながら、来週グループ分けをしたい。いかがですか。

～ “前回担当した部会を希望する”、 “付託でよい” などの発言が口々に～

(会長) それでは希望する部会を順番に発表していただきたいと思うが、よろしいか。

～ 順番に希望の部会を各自発表する～

(会長) 今発表いただいた希望の部会を事務局と相談して決めさせていただき、来月の協議会で皆さんに図りたいがよろしく願いたい。

5 その他

～事務局、委員から諸報告～

(1)(センター長) 上田市の「空き家バンク制度」について

昨年度、委員の皆さまに空き家の有効利用について協議いただいたが、上田市では今年度から新たに、移住を促進するための「空き家バンク制度」の創設、ホームページやチラシで情報を発信していくほか、県が8月に東京・銀座に開設する予定の情報発信拠点「しあわせ信州シェアスペース」の有効活用など、情報発信を積極的に行い、受け入れ態勢を整えていく予定である。

【質疑・意見等】

(委員) 上田市の空き家バンクインターネット情報にただ物件を載せるのではなく、それぞれの地域の場所やイメージ、特色を宣伝しながら売り込んだらどうか。

(2)(武石上下水道課長) 4月からの武石上下水道課の体制について

(3)(委員) 雲溪荘に子どもたちが作ったペットボトルキャンドルの設置について

今年5月3日の花祭りの夜祭のイベントの一つとして、雲溪荘の入り口までの道路にペットボトルキャンドルを設置した。ちょうど夕暮れ時、お客さまが見えて幻想的な雰囲気になっていった。

(4)(委員) 信州せんしゅん村の「農家レストラン里の食」のオープンからの状況について

4月26日土曜日にオープンした農家レストランは武石地域の活性化のために始めた。5月の連休明けも好調で、17日土曜日は阿部県知事自ら来ていただいた。レストラン付近のGファーム(Gは、じいちゃん、ゴールドの意味をこめた畑)で採れた野菜を食材として使い、来年、再来年は直売所も展開し継続していきたい。

(5)(委員) 今年の余里花桃の里の状況について

今年は天候がよく、花桃、桜、チューリップ、水仙といっせいに咲き、来客者に満足していただいたのではないかと思います。武石産業観光課の推計では1万人のお客様があった。売店では花桃苗木、野菜、山野草を販売、昨年度からは余里公民館でJA、武石観光センターの協力を

いただき、手打ちそばの提供も始めた。今年もそばの提供は大盛況で、3日間で178食出た。わさび漬やコゴミの添え物で、余里花桃に来なければ食べられない味わい深いものが提供できた。今後も定着できるようにしたい。課題は、あまりの繁盛に店に入りきれないお客様があきらめて帰ってしまうことが残念だった。せっかく来てくれるお客様のためにも思い出に残るよう今後も地域の方々、地域協議会、自治センターからのさらなる応援、ご協力もお願いしたい。

【質疑・意見等】

(委員) 沿道に“豆屋”という店があった。コーヒーの提供をしているようだが、内容はどうだろうか。

(委員) 余里の花桃の良いところは田畑、民家の中に花桃が点在する。その原風景が癒される。今後も(各方面で)お手伝いをいただきながら地域のために頑張ってもらいたい。

(6) 次回協議会の日程について

- ・ 協議の結果、第3回は6月18日水曜日、午後7時から午後9時までと決定する。

6 閉 会 (竹内副会長)